

空気伝搬音の防止対策

ある材料に音を投射すると、その音のエネルギーの一部は反射し、一部は材料に吸収され、一部は透過します。音を透過させないようにすることを「遮音」と呼び、ある材料が遮音する能力を「遮音性能」と呼びます。具体的には、D値[※]で表されます。

※ JIS A 1419の『室内平均音圧レベル差に関する遮音等級』で、周波数特性を定めて基準曲線とし、500Hzで示す音圧レベル差（dB）の数値。

このD値を感覚に表すと以下のようになります。

		空気伝搬音		
		ピアノなど特に大きい音	テレビ・ラジオ・会話などの音	集合住宅の生活状態
遮音等級	D-30	非常によく聞こえる	話の内容がわかる	生活がわかる
	D-35	よく聞こえる	かなり聞こえる	電話のベルが聞こえる
	D-40	曲がはっきりわかる	小さく聞こえる	電話のベルがわかる
	D-45	かなり聞こえる	ほとんど聞こえない	在宅の有無がわかる
	D-50	小さく聞こえる	通常では聞こえない	日常生活では気にならない
	D-55	静かな時に聞こえる	まったく聞こえない	気兼ねなく生活できる